



子宮頸がんワクチン



「子宮頸がんの予防ワクチンがあるなら受けてみたい」
「子宮頸がん予防のために、子どもに受けさせたい」
このように考えられる方は、多いのではないのでしょうか？子宮頸がんは、日本国内で1年間に約1,000人が診断され、患者数は20代後半から40歳代でピークになります。患者数・死亡率ともに、2000年以後増加しており、WHO世界保健機関でも警鐘を鳴らしているがんです。

HPVワクチン接種については、専門家の会議において継続的に議論されてきました。令和3年11月12日に開催された会議において、安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました。積極的な勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当であると判断され専門家の意見を踏まえ、令和3年11月26日に差し控えの状態を終了させることとなりました。

子宮頸がんワクチン 無料接種

対象	1997年度～2005年度に 生まれた女性すべて (今年度中に16歳～24歳)
期間	来年度からの3年間 個別にパンフレット送り周知

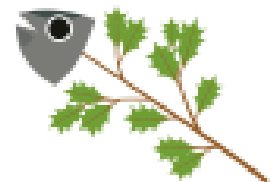
シルガード

(任意接種)

アジア人に特に感染が多くみられる HPV 52/58型を含んだ9価で、子宮頸がんの原因となる HPV 型の88.2%をカバーする、女性にも男性にも接種できる HPV ワクチンです。主に子宮頸がんの原因となる HPV 16、18型とともに、尖圭コンジローマの原因となる HPV 6、11型を含みます。また、2020年12月に適応が追加され、男性への接種が可能となりました。

189

児童相談所虐待対応ダイヤルです
児童虐待かも...と思ったらすぐに
電話してください
あなたの電話で守れる命があります



2月の臨時休診は
ありません